

弊社大垣事業所は、本年二月二十日、大垣市の本今より万石に移転しましたことを報告させていただきます。創業より、弊社は光線治療器の製造部門をもたず、製造は他社様に委ねておりました。が、イビデンケミカル株式会社様より治療器製造を移管される形で、平成二十一年(2010年)に製造部門を初めてもつこととなりました。以来、今日に至るまで、主に営業面を担当する東京本社

はじめに

と大垣事業所は、両輪となり歩んでまいりました。大垣事業所では、光線治療器はつらつさんの製造および修理、サンモアカーボンの品質チェック、そして梱包から出荷、他社から委託されたガウジングを行っております。

数年前に大手後発医薬品メーカーの日医工(富山)の工場が、PMDAと富山県の無通査察を受け、医薬品の製造管理と品質管理に関する基準(GMP)に関して違反を指摘、医薬品の自主回収を余儀なくされた上に業務停止処分が科せられたことは記憶に

大垣事業所が果たす役割

ー光線療法普及の礎にー

医学博士 宇都宮 正範



医療機器に求められる安全性

時代の変遷とともに、医薬品や医療機器の管理組織は変わり、現在では、PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構、平成十六年設立)がその役割を担っていますが、医薬品医療機器等法(薬機法)に基づき、製造から販売、そして市場出荷後に至るまで、製造販売者は、適切な管理が求められようになります。

今後はさらに高いレベルでの法令を遵守し、徹底した品質管理体制をとどておりますが、管理体制をとどめます。また。

このような医療機器の製造販売を取り巻く環境の変化のなか、弊社は創業百周年までになすべきことを問い合わせ、安全安心な光線治療器、そして高品質を維持したサンモアカーボンの製造販売を続けることしかないとの考えに至りました。

(四面に続きます)

発行所
光線療法普及協会

(年2回発行)
〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11
電話 (03) 5759-6333

定休日変更のお知らせ

弊社目黒本社の販売窓口につきましては、昨年10月より第2、第4土曜日を定休日としてまいりましたが、本年7月5日より、全ての土曜日を定休日とさせていただきました。ご愛用者さまには大変ご不便をおかけしますが、何卒、ご容赦のほどお願い申し上げます。

営業時間・午前9時30分から午後5時30分
定休日・土曜、日曜、祝日



大垣事業所の移転

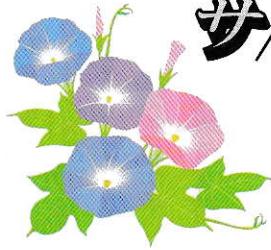
夏季休業のお知らせ

八月十三日(水)から
十六日(土)まで
休業させて頂きます



東京光線メディカル
サンアモーレ

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.86 宇都宮 正範

サナモアの田
感謝企画について

本年も三月七日、サナモアの日における感謝企画に多くの方からご注文をいただきました。厳正なる抽選の結果（写真、抽選風景はインスタグラム）

第54回光と熱研究会

目黒川沿いの桜が咲き誇る
三月二十八日、目黒区民センタ－にて、十数名の参加者を迎え開催しました。

A medium shot of a man in a dark suit and tie, sitting at a white desk. He is gesturing with his hands while speaking. In the background, there is a yellow chair and a sign that reads "San Jose".

ラムにて配信)、十名の方に感謝の品をお届けしましたことをご報告申し上げます。今回、残念ながら外れてしましましたが愛用者さまには、大変申し訳なく思っております。地域別ご当選者内訳

ラムにて配信)、十名の方に感謝の品をお届けしましたことをご報告申し上げます。

当日は、講演後に活発な質疑応答がなされ、ご愛用者さまの光線療法に対する熱い思いを感じることができました。

サンモア関西支部講演会

神戸市産業振興センターは
て、五月十六日、関西支部講
演会を開催しました。当日は、
上野郷子先生（ウエノ光線療

五年に及ぶコロナ禍による
ライフスタイルの変化に合わ
せ、この度講演会の在り方を
見直すことと致しました。

今後の講演会予定
について

会につきましては、開催を見送させていただきたく存じます。

サナモア体験記募集

光線療法普及協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も行っています。

下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス : tkm@sanamore.co.jp



**治
驗
例
報
告**

変形性腰椎症に対し

光線療法が著効を示した

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏 報告

症例 79歳 男性

症状 数年前から腰痛を自覚

していたが、昨年二月、雪が降り冷えた影響からか痛みで寝込むようになる。主治医から、年齢的な問題で仕方ない、寝ていることですと説明され、治療は局所注射で痛みを和らげるのみであった。

療法経過 治療は BB または BC カーボンにて、足裏 20 分、足首と膝 10 分、腰部 20 分の照射を、一日一回以上行うよう指示した。治療開始七日後には、室内での歩行が可能となり、さらにその三ヶ月後、腰痛は著しく軽減。現在は健康法を兼ねて光線療法を続けている。

アドバイス 光線療法の消

・足爪の水虫について

症例 90代 女性

症状 高齢となられたご愛用者から受けた様々な相談について報告します。本人的には、あまりに多くのことがあるため、どうしたものか時に分かれなくなるとのことです。

BC カーボンにて、足裏 20 分、足首と膝 10 分、腰部 20 分の照射を、一日一回以上行うよう指示した。治療開始七日後には、室内での歩行が可能となり、さらにその三ヶ月後、腰痛は著しく軽減。現在は健康法を兼ねて光線療法を続けている。

アドバイス 光線療法の消

・足爪の水虫について

福岡県春日市 育美健康光線療研
山崎 いく子（旧姓前田）氏 報告

高齢者の様々な訴えに応える光線療法

**治
驗
例
報
告**

炎鎮痛効果は、光線の照射量に比例するため、患部への照

連した症状がでやすい部位への照射も怠らないよう注意しなければなりません。

安全に光線治療器はつらつさん（HSシリーズ）をご使用頂くために

使用するカーボンは、ジヨイントカーボンのみとなりますので、くれぐれもお間違いのないようにお願い致します。



燃え残しなく使いきれるジヨイントカーボン

サンモアカーボンには、従来からのレギュラーカーボンと接続可能なジヨイントカーボンがあります。後者のカーボンは、燃え残し部分のカーボンを新しいカーボンと接続することで、ありますことなく使用することを可能としました。

サナモアカーボンには、従来からのレギュラーカーボンと接続可能なジヨイントカーボンがあります。後者のカーボンは、燃え残し部分のカーボンを新しいカーボンと接続することで、



射時間は、病気の種類や程度によつて異なる。高齢者特有の慢性的な疾患、病態に対しても、一日一回、比較的短時間でよいが、長期に継続することが重要。なお、患部（腰部）以外では、膝、ふくらはぎ、足の甲、足裏など、患部と関連した症状がでやすい部位への照射も怠らないよう注意しなければなりません。

完成したジヨイントカーボンは、石油が原材料のカーボンを完全に使い切るため、エコにも一役買っています。

BB カーボンで、症状が緩和じない程度の時間、のんびり

するまで照射するよう指示。

・耳鳴について

BC カーボンを使用。足趾と足趾の間にカット綿をはさんだ状態で、第一集光器を使

用し、足趾を集光器に突っ込むようにして照射するよう指示。

2 集光器を使用し、耳孔を中心

に照射するよう指示。

アドバイス 私から、光線

療法を、毎日、短時間でも続

けることの重要性を話し、1

回 30 分程度、ストレスを感

じない程度の時間、のんびり

行つた方が良いと説明。

高齢者はちよつとしたこと

でも気にされることがあるた

め、溜め込まないためにも、

何か気になることがあれば、

何時でも連絡くださいと付け加えた。

(二面からの続きです)

そこから、治療器製造の中核である大垣事業所の整備計画が浮上し、移転に向けた準備が始まりました。建物の老朽化もあり、少しでも作業に集中できる環境を整えることを最優先とし、移転先探しを始めましたが、ちょうど同規模の建物が見つかり、本年二月、無事移転することができました。移転のためのプロジェクト立ち上げから、約三年の月日が経過しております。

大垣事業所が果たす役割

弊社は創業より九十年以上がたちましたが、これからも光線療法の普及に邁進する所存であります。そのためにも、大垣事業所の存在意義は大きく、ご愛用者さまのご期待を裏切らないよう、より良い光線治療器を製造し続けることを使命として精進致しますので、末永くよろしくお願い申しあげます。



治療器製造ライン

さまであることは間違いありません。私どもの支えは、ご愛用者さまから頂戴する励ましや感謝のお言葉でした。この紙面を借りて、衷心より御礼申し上げます。

大垣事業所

住所：〒503-0812
岐阜県大垣市万石
3丁目40-2
電話：0584-84-7533
FAX：0584-84-7534



オリーブ記念植樹



昼食風景



部材保管エリア

SanaMore

光線療法普及協会 趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

- 一、「健康と光線」の発行
- 二、講演会の開催
- 三、サナモア光線治療師の養成の事業を行います。

光線療法普及協会
医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の読者を募集しております。
事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11
光線療法普及協会 TEL(03) 五七五九一六三三三

(本紙の無断転用を禁止します)